

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200223
事業所名	グループホームいりやあせ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目：2)	評価
	地域とは継続した相互交流があり、地域に認知された存在である。ホームの移転を控え、地域住民と話し合い、協力を得ている。地域の介護相談、困りごと解決についても、相互の助け合いで連携している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目：3)	評価
	利用者家族、地域代表、地域包括支援センターが参加し、年6回の会議を開催している。内3回は、近隣にある同法人の事業所と合同開催し、広く意見交換を行える環境にある。ホームの運営報告のほか、ホームや地域が抱える課題について話し合っている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目：4)	評価
	利用者に生活保護受給者がいることから、区の保護課とも緊密に連携している。地域包括支援センターから、困難事例祖相談や利用者の受け入れ要請を受けることもある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目：6)	評価
	今年度は特に、ホーム移転や利用料値上げ、協力医の変更、新規事業所の内覧会等、環境変化に伴う変更事項について、説明会を開催し、きめ細かな説明で、理解と同意を得ることができている。日常的にも、面会時を活用し、直接面談して意向を聞き取っている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○